

三浦半島南西部沿岸の魚類—VII

工藤 孝浩・山田 和彦

Takahiro Kudo and Kazuhiko Yamada:
Fish Fauna in the Southwestern Coast of Miura Peninsula - VII

Summary. We are studying of fish fauna in the southwestern coast of the Miura Peninsula since 1988. 452 species of fishes were previously recorded. 18 species are newly added in the present study from November 2004 to October 2010. *Eviota prasina*, *Oxyurichthys* sp., *Ptereleotris zebra*, *P. heteroptera* and *Scatophagus argus* are the first record on the basis of specimens from Sagami Bay.

はじめに

相模湾は、伊豆半島石廊崎から房総半島洲崎を結んだ線以北のうち、観音崎—富津岬以北の東京湾を除く海域と定義される。著者らは、相模湾の魚類相を明らかにすることを目的として、1988年から城ヶ島を中心とした三浦半島南西部沿岸で魚類調査を続けている。これまでに452種を報告したが(工藤・山田, 2005), その後新たに発見されて標本を収集することができた18種を追加報告する。また、工藤・岡部(1991)で標本未収集のまま報告したもののうち7種の標本が得られたので、あわせて報告する。

調査方法

2004年11月から2010年10月までの6年間に、図1の黒丸に示す調査地点において魚類の調査を行った。調査方法はスキンドビングを主とし、徒歩による手網採集を加えて、原則として水深10m以浅に出現した魚類を調査対象とした。城ヶ島の長津呂以外での調査は不定期に実施したため、調査頻度は一定していない。また、小網代湾においては徒歩で曳網するサーフネット(袋網: 幅2m, 高さ1m, 深さ2m, 1.5mmメッシュ; 袖網: 長さ4.5mずつ, 高さ1m, 3mmメッシュ)を用いた採集を行ったほか、補足的に漁業者が操業する刺網の漁獲物調査を行った。

標本は生鮮時にカラー写真で撮影後、横須賀市自然博物館魚類資料(YCM-P)並びに生物学研究所魚類資料(BLIH)として登録保管した。魚種名、分類学的配列および全般的な分布記録などはNakabo(2002)に、また幼期については沖山編(1988)に従った。

目録で使用した種の番号(453～)は、前報(工藤・山田,

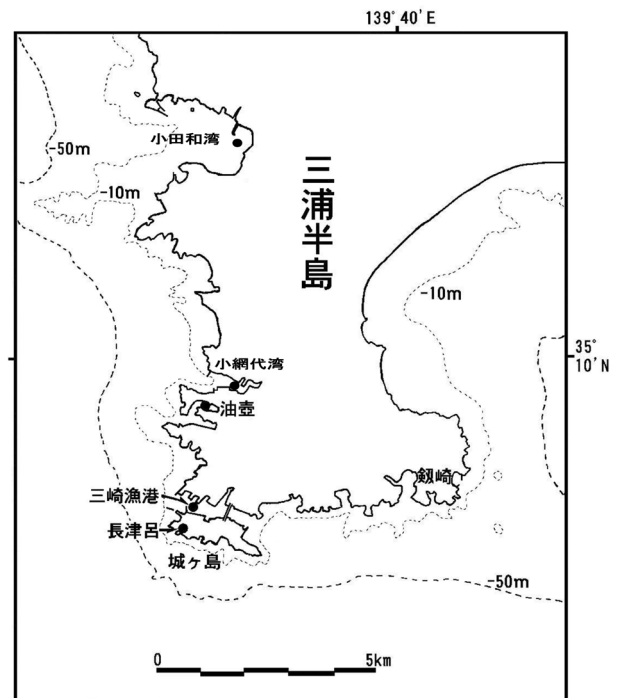


図1. 調査地点.

Fig. 1. Map showing collection localities in investigation area.

2005)で記録した最後の番号に追録した。本報告の標本に関する記述は、標本番号、丸括弧内に標準体長(複数個体の場合は個体数および範囲)、採集年月日、採集地、採集方法、採集者ならびに図版番号の順に記した。各種の相模湾における分布記録は、Senou *et al.* (2006)を参考とした。

調査結果

本調査により、新たに 18 種が発見・採集され、合計で 470 種となった。今回新たに確認された種について、以下に目録として記述する。また、工藤・岡部 (1991) で標本未収集のまま報告したもののうち 7 種の標本が得られたので、目録の末尾に補足として報告する。

453. イットウダイ *Sargocentron spinosissimum*

YCM-P 44471 (149.2mm), Oct. 28, 2007, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 山田 (図 2-1)

南日本の太平洋沿岸から隠岐群島, 琉球列島, 小笠原諸島の岩礁に分布する。相模湾においては, 下田市田ノ浦湾 (林ほか, 1992), 館山湾 (林・伊藤, 1974a), 横須賀市天神島 (林・伊藤, 1974b) から記録がある。標本個体は城ヶ島南側の岩礁帯周辺で操業する刺網によって漁獲された。

454. トカゲゴチ *Inegochia japonica*

YCM-P 44448 (95.2mm), Nov. 15, 2008, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 山田 (図 2-2)

南日本の大陸棚上の浅海域に分布する。相模湾においては, 三崎 (Shinohara and Williams, 2006), 館山湾 (萩原・木村, 2005), 油壺 (瀬能・内野, 2003), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 下田市田ノ浦湾 (林ほか, 1992), 三浦市毘沙門地先の定置網 (山田, 1990) ほかから記録がある。標本個体は波静かな入り江の水深 2m の砂地に定位しているところを採集された。

456. アオハタ *Epinephelus awoara*

YCM-P 44438 (70.0mm), Oct. 17, 2008, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 2-3)

南日本の沿岸浅海域に分布し, 相模湾において藤沢地先の定置網 (山田・工藤, 1997) で記録がある。標本個体は, 水深 2.5m の砂地に点在する径 1 ~ 2m の石の隙間を生活圏としており, 採集されるまで約 1 ヶ月にわたって定着が確認された。

457. タナバタウオ *Plesiops coeruleolineatus*

YCM-P 44530 (64.6mm), Oct. 26, 2010, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 山田 (図 2-4)

南日本の太平洋沿岸から琉球列島, 島根県隠岐群島に分布する。相模湾においては, 伊豆海洋公園 (瓜生, 2003b), 下田市田ノ浦湾 (林ほか, 1992), 真鶴 (Sano *et al.*, 1984), 館山湾 (林・伊藤, 1974a) から記録がある。標本個体は, 水深 2m の転石の下から採集された。

458. ニラミアマダイ *Opistognathus iyonis*

YCM-P 44404 (54.1mm), June 25, 2010, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 山田 (図 2-5)

南日本の太平洋沿岸と瀬戸内海, 長崎県平戸島の砂利底の海底に分布する。相模湾の周辺においては, 三崎 (藍沢, 2000), 東京湾金沢湾沖 (工藤ほか, 1996) から記録がある。標本個体は, 水深 2m の砂地に掘られた巣穴に定着しており, その様子は少なく

とも 2 週間以上にわたって潜水観察されていたが, 観察中に巣穴から全身を現すことはなかった。ごく浅海部における本種の出現は稀と思われる。

459. イケカツオ *Scomberoides lysan*

YCM-P 44489 (72.9mm), Oct. 8, 2006, 油壺, 手網, 採集者: 日高芳子 (図 2-6)

南日本の太平洋沿岸から琉球列島に分布する。相模湾においては, 西湘地区の定置網 (林・西山, 1980), 相模川河口 (長嶺・浜口, 1980), 横須賀市小田和湾 (清水, 1979), 三浦市西岸の定置網 (山田・工藤, 2001, 2002), 館山湾 (林・伊藤, 1974a) から記録がある。標本個体は, 油壺湾奥の表層を単独で遊泳していたもので, そこに設置された浮桟橋の上から採集された。

460. モンツキアカヒメジ *Mulloidichthys flavolineatus*

YCM-P 44440 (32.0mm), Oct. 17, 2008, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 2-7)

和歌山県から琉球列島, 小笠原諸島までに分布するとされる。相模湾においては, 横須賀市天神島 (林, 1995; 林ほか, 2000), 下田市田ノ浦湾 (東ほか, 1989) から記録がある。標本個体は, キュウセン *Halichoeres poecilopterus* やカミナリベラ *Stethojulis interrupta terina* の幼魚とともに砂底直上を混泳していた。

461. タカサゴヒメジ *Parupeneus heptacanthus*

YCM-P 44517 (70.2mm), Sept. 21, 2010, 小網代湾, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 2-8)

南日本の太平洋沿岸から琉球列島までの砂泥底や藻場に分布する。相模湾においては, 熱海 (瀬能ほか, 1998), 伊豆海洋公園 (山城, 1996), 横須賀市天神島 (林, 1995; 林ほか, 2000), 三崎魚市場 (山田, 1990), から記録がある。

標本個体は, 小網代湾奥のアマモ場の水深 1m 地点から汀線までを曳いた網によって採集された。

462. イッテンチョウウオ *Chaetodon unimaculatus*

YCM-P 44486 (15.1mm), Sept. 11, 2006, 油壺, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 2-9); YCM-P 445284 (21.4mm), Oct. 14, 2010, 油壺, スキンダイビング, 採集者: 山田

南日本の太平洋沿岸から琉球列島, 小笠原諸島に分布する。相模湾においては, 熱海 (瀬能ほか, 1998), 伊豆海洋公園 (瀬能, 1992) から記録がある。

標本個体は, いずれも潮下帯のカキ礁に定着していた。

463. キヌベラ *Thalassoma purpurum*

YCM-P 44451 (38.8mm), Nov. 10, 2004, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 山田 (図 2-10)

和歌山県南部, 山陰地方から琉球列島, 小笠原諸島に分布するとされる。相模湾においては, 館山湾 (萩原・木村, 2005) から記録がある。標本個体は, 奥深い入江の湾口近くの水深 0.5m の岩礁を遊泳していた。

464. イナズマベラ *Halichoeres nebulosus*

YCM-P 44441 (2 個体, 32.1, 25.4mm), Oct. 17.

2009, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 3-1)

南日本の太平洋沿岸から琉球列島に分布し, 相模湾から記録がある (島田, 2000)。標本個体は, 奥深い入り江の水深 0.5m 前後の海藻帯をキュウセンやホンベラ *H. tenuispinnis* と混泳していた。

465. コウワンテグリ *Neosynchiropus ocellatus*

YCM-P 44443 (42.8mm), Oct. 17, 2009, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 山田 (図 2-12)

南日本の太平洋沿岸から琉球列島に分布し, 相模湾では伊豆海洋公園 (中坊, 1991) から記録がある。標本個体は, 水深 2m の岩棚の上に定位していた。

466. ナンヨウミドリハゼ *Eviota prasina*

YCM-P 44417 (2 個体, 25.2, 20.7mm), July 27, 2009, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 2-13)

和歌山県, 徳島県, 高知県の潮間帯やタイドプールに分布するとされており, 相模湾初記録である。

標本個体の頭部感覚器官は, 眼の後方から鰓蓋方向へと伸びる感覚管と管端開孔がともに存在しないこと, 臀鰭起点から尾鰭基底部までに 5 個の黒色斑があること等から本種と同定された。標本個体のうち第 1 背鰭棘が伸長しているものは雄, 伸長していないものは雌であると考えられる。やや波当たりが強い潮間帯の岩場に空けられた小さな穴の中に, イソハゼ *E. abax* と同所的に生息していた。

467. ミジンベニハゼ *Lubricogobius exiguus*

YCM-P 44431 (25.8mm), Apr. 9, 2010, 三崎漁港 (城ヶ島船揚場), 刺網, 採集者: 山田 (図 2-14)

千葉県館山湾から駿河湾, 兵庫県香住町, 大阪湾, 愛媛県, 壱岐水道から天草灘に分布する。相模湾においては, 館山湾 (Randall and Senou, 2001; 萩原・木村, 2005), 東伊豆富戸 (Randall and Senou, 2001), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 三崎・葉山 (松原, 1955) から記録がある。標本個体は, 城ヶ島沿岸で操業する刺網漁船が網に掛かったゴミ等を外す作業場に落ちていたヤツシロガイの貝殻の中から発見された。

468. サルハゼ属の 1 種 *Oxyurichthys* sp.

BLIH-20101259 (20.4mm), Oct. 30, 2002, 横須賀市小田和湾 (長坂地先), エクマンバージ式採泥器, 採集者: 工藤 (図 3-1)

標本個体は, 小田和湾奥にある水深 3.5m のアマモ群落の中に空いたギャップから採泥され, 現場でホルマリン固定されたサンプル中から, 後日発見された。

標本個体は, 背鰭前方域背正中線上に低い皮質隆起があり, 第 1 背鰭の棘に沿って黒色点列があり, 尾鰭は長く伸びる。サルハゼ属の 1 種であるが, 鰭や体側の斑紋は既知の同属魚類のいずれにも該当しない (池田祐二氏, 私信)。未記載種である可能性が高く, 生物学御研究所において分類学的検討が進められている。

469. ゼブラハゼ *Ptereleotris zebra*

YCM-P 44453 (27.6mm), Nov. 14, 2004, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 山田 (図 3-2)

小笠原諸島, 沖縄島, 石垣島に分布する。相模湾においては, 伊豆半島で水中写真が撮影されているが (瓜生, 2003a), 標本に基づく記録としては初となる。

標本個体は稚魚で, 本種に特有な体側の横帯はまだ現れておらず, 中層を遊泳するハナハゼ *P. hanae* の稚魚と混泳していた。

470. オグロクロユリハゼ *Ptereleotris heteroptera*

YCM-P 44439 (44.5mm), Oct. 17, 2008, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 3-3)

伊豆半島, 小笠原諸島, 高知県柏島, 琉球列島に分布する。熱海の水深 22m で撮影されているが (KPM-NR 16189: 1997 年 11 月 24 日, 武谷 洋撮影) 相模湾における標本に基づく記録としては初となる。

標本個体は, 中層を遊泳するクロユリハゼ *P. evides* やハナハゼの稚魚と混泳していた。

471. クロホシマンジュウダイ *Scatophagus argus*

YCM-P 44454 (12.4mm), Nov. 13, 2004, 油壺, 手網, 採集者: 日高芳子 (図 3-4)

和歌山県南部から琉球列島に分布する。神奈川県においては, 鎌倉市由比ヶ浜に注ぐ滑川の感潮域から記録があるが (木村ほか, 1997), 相模湾からは初記録となる。

標本個体は, 後側頭骨が後方に伸張する棘を有するなどトリクテス期幼生の特徴を現しており, 油壺湾奥に設置された浮き桟橋の水面近くに定位していた。

補 足

118. ニセクロホシフエダイ *Lutjanus fulviflamma*

YCM-P 44518 (33.5mm), Sept. 21, 2010, 小網代湾, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 3-5)

119. クロホシフエダイ *Lutjanus russellii*

YCM-P 44519 (20.6mm), Sept. 21, 2010, 小網代湾, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 3-6)

137. アミチョウウチウウオ *Chaetodon lafflesii*

YCM-P 44485 (17.4mm), Sept. 11, 2006, 油壺, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 3-7)

150. ミナミハタタテダイ *Heniochus chrysostomus*

YCM-P 44487 (36.8mm), Sept. 26, 2006, 油壺, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 3-8)

175. ブチススキベラ *Anampses caeruleopunctatus*

YCM-P 44442 (32.1mm), Oct. 19, 2009, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 工藤・山田 (図 3-9)

176. セナスジベラ *Thalassoma hardwicke*

YCM-P 44531 (21.3mm), Oct. 26, 2010, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 山田 (図 3-10)

318. コングウフグ *Lactoria cornuta*

YCM-P 44520 (19.9mm), Sept. 21, 2010, 小網代湾, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 3-11)

謝 辞

横須賀市自然博物館の林 公義 館長と萩原清司学芸員からは標本の登録と同定でお世話になるとともに、文献と種々のご教示をいただいた。宮内庁生物学研究所の池田祐二氏には標本を受け入れていただくとともに、貴重な情報をいただいた。神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能 宏 博士からは文献とご教示をいただいた。(株)油壺ボートサービスの日高芳子社長からは標本を提供いただくとともに、調査の便宜を図っていただいた。また、山口利恵氏からは標本測定や試料整理に際しご助力をいただいた。謹んで感謝の意を表する。

引用文献

- 藍沢正宏, 2000. アゴアマダイ科. 中坊徹次 編, 日本産魚類検索 全種の同定 第二版, pp.841-842. 東海大学出版会, 東京.
- 萩原清司・木村喜芳, 2005. 房総半島館山湾波佐間周辺海域の魚類相. 国立科学博物館専報, (41): 351-387.
- 林 弘章・萩原清司・木村喜芳, 2000. 天神島・笠島および芦名オオツブ根周辺の浅海域魚類目録. 相模湾海洋生物研究会, 芦名周辺サンゴ類生息状況調査報告書, pp.41-63. 相模湾海洋生物研究会, 横須賀.
- 林 公義, 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21(1): 243-258.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974a. 館山湾南部(沖ノ島, 鷹ノ島, 西岬, 洲崎)にみられる魚類について. 横須賀市博物館雑報, (19), 18-30.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974b. 横須賀市佐島 天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博物館雑報, (20): 37-50.
- 林 公義・伊藤 孝・岩崎 洋・林 弘章・萩原清司・足立行彦・長谷川孝一・木村喜芳, 1992. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類(追補). 神奈川自然誌資料, (13): 17-27.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
- 東 禎三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類. *Bulletin of the College of Agriculture and Veterinary Medicine, Nihon University*, (46): 175-185.
- 木村喜芳・萩原清司・中根基行, 1997. 神奈川県産淡水魚5種の分布に関する新知見. 神奈川自然誌資料, (18): 79-82.
- 工藤孝浩・中村良成・清水詢道, 1996. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類—II. 神奈川自然誌資料, (17): 63-72.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 29-38.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2005. 三浦半島南西部沿岸の魚類—VI. 神奈川自然誌資料, (26): 79-84.
- 松原喜代松, 1955. 魚類の形態と検索 I-III. xii + 790pp., vi + 791-1605pp., xiv + 135pls. 石崎書店, 東京.
- 長嶺嘉之・浜口哲一, 1980. 相模川汽水域の魚類相. 平塚市博物館研究報告「自然と文化」, (3): 21-32.
- 中坊徹次, 1991. ネズボ科コウワンテグリの着底直後幼稚魚の初記載. 伊豆海洋公園通信, 2(3): 2-5.
- Nakabo, T. (ed.), 2002. Fishes of Japan with pictorial keys to the species, English edition, lxi + 1749pp. Tokai University Press, Tokyo.
- 沖山宗雄編, 1988. 日本産稚魚図鑑. xii + 1157pp. 東海大学出版会, 東京.
- Randall, J. E. & H. Senou, 2001. Review of the Indo-Pacific gobiid fish genus *Lubricogobius*, with description of a new species and a new genus for *L. pumilus*. *Ichthyological Research*, 48(1): 3-12.
- Sano, M., M. Hayashi, H. Kishimoto, H. Manabe & K. Kobayashi, 1984. Validity of the plesiopid fish *Plesiops nakaharhræ* Tanaka, 1917, with a record of *Plesiops cephalotaenia* from Japan. *Science Report of the Yokosuka City Museum*, (32): 11-22, pls. 6-7.
- 瀬能 宏, 1992. 伊豆海洋公園に出現するチョウチョウオ科魚類(予報). 生物飼育研究会誌, 3(2): 62-66.
- 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真データベース(KPM-NR)に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19-28.
- Senou, H., K. Matsuura & G. Shinohara, 2006. Checklist of fishes in the Sagami sea with zoogeographical comments on shallow water fishes occurring along the coastlines under the influence of the Kuroshio current. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (41): 389-542.
- 瀬能 宏・内野啓道, 2003. 油壺の海—同定が難しい底生魚たち. 伊豆海洋公園通信, 14(3): 6-7.
- 島田和彦, 2000. ベラ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索 全種の同定 第二版, pp.969-1013, 東海大学出版会, 東京.
- 清水詢道, 1979. 小田和湾の藻場の魚類. 神奈川県水産試験場・神奈川県水産試験場相模湾分場 編, 相模湾資源環境調査報告書—II, pp.187-191, 神奈川県水産試験場, 三浦.
- Shinohara, G. & J. T. Williams, 2006. Historical Japanese fish specimens from the Sagami Sea in the National Museum of Natural History, Smithsonian Institution. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (41): 543-568.
- 瓜生知史, 2003a. 生物観察ガイド—伊豆の海水魚. 253pp. 海游舎, 東京.
- 瓜生知史, 2003b. タナバタウオとナカハラタナバタウオの繁殖行動ウォッチング. 伊豆海洋公園通信, 14(10): 6-7.
- 山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 95-102.

山田和彦・工藤孝浩, 1997. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・VI. 神奈川自然誌資料, (18): 73-78.
山田和彦・工藤孝浩, 2001. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・X. 神奈川自然誌資料, (22): 43-50.
山田和彦・工藤孝浩, 2002. 神奈川県三崎魚市場に水揚げ

された魚類・XI. 神奈川自然誌資料, (23): 9-11.
山城有美子, 1996. 伊豆海洋公園の海—ヒメジ類. 伊豆海洋公園通信, 7(7): 7.

工藤孝浩: 神奈川県水産技術センター
山田和彦: 相模湾海洋生物研究会

図2(140ページ). 1: イットウダイ YCM-P 44471 (149.2mm); 2: トカゲゴチ YCM-P 44448 (95.2mm); 3: アオハタ YCM-P 44438 (70.0mm); 4: タナバタウオ YCM-P 44530 (64.6mm); 5: ニラミアマダイ YCM-P 44404 (54.1mm); 6: イケカツオ YCM-P 44489 (72.9mm); 7: モンツキアカヒメジ YCM-P 44440 (32.0mm); 8: タカサゴヒメジ YCM-P 44517 (70.2mm); 9: イッテンチョウウオ YCM-P 44486 (15.1mm); 10: キヌベラ YCM-P 44451 (38.8mm); 11: イナズマベラ YCM-P 44441 (32.1); 12: コウワンテグリ YCM-P 44443 (42.8mm); 13: ナンヨウミドリハゼ YCM-P 44417 (25.2; 20.7mm); 14: ミジンベニハゼ YCM-P 44431 (25.8mm).

Fig. 2 (Page 140). 1: *Sargocentron spinosissimum*; 2: *Inegochia japonica*; 3: *Epinephelus awoara*; 4: *Plesiops coeruleolineatus*; 5: *Opistognathus iyonis*; 6: *Scomberoides lysan*; 7: *Mulloidichthys flavolineatus*; 8: *Parupeneus heptacanthus*; 9: *Chaetodon unimaculatus*; 10: *Thalassoma purpurum*; 11: *Halichoeres nebulosus*; 12: *Neosynchiropus ocellatus*; 13: *Eviota prasina*; 14: *Lubricogobius exiguus*.

図3 (141 ページ). 1: サルハゼ属の1種 BLIH-20101259 (20.4mm); 2: ゼブラハゼ YCM-P 44453 (27.6mm); 3: オグロクロユリハゼ YCM-P 44439 (44.5mm); 4: クロホシマンジュウダイ YCM-P 44454 (12.4mm); 5: ニセクロホシエダイ YCM-P 44518 (33.5mm); 6: クロホシエダイ YCM-P 44519 (20.6mm); 7: アミチョウウオ YCM-P 44485 (17.4mm); 8: ミナミハタテダイ YCM-P 44487 (36.8mm); 9: ブチススキベラ YCM-P 44442 (32.1mm); 10: セナスジベラ YCM-P 44531 (21.3mm); 11: コンゴウフグ YCM-P 44520 (19.9mm).

Fig. 3 (Page 141). 1: *Oxyurichthys* sp.; 2: *Ptereleotris zebra*; 3: *Ptereleotris heteroptera*; 4: *Scatophagus argus*; 5: *Lutjanus fulviflamma*; 6: *Lutjanus russellii*; 7: *Chaetodon lafflesi*; 8: *Heniochus chrysostomus*; 9: *Anampses caeruleopunctatus*; 10: *Thalassoma hardwicke*; 11: *Lactoria cornuta*.



